

●1分で見る世界景気／2019年4月末から見た2019年5月動向

※世界景気は年後半への期待&懸念が相半ば。令和日本は長年の積み残し課題（消費税等）を決着できるか？

欧
州

英国/EU離脱10月まで延期

EU ・1-3月GDP+0.4%

※サービス業を中心に賃金上昇
→堅調な個人消費→景気持ち直しの兆し

●IMF（国際通貨基金）

19年成長見通し（4月）
は1月より軒並み低下

ユーロ圏+1.3%（▲0.3%）

ドイツ+0.8%（▲0.5%）

フランス+1.3%（▲0.2%）

イタリア+0.1%（▲0.5%）

スペイン+2.1%（▲0.1%）

英国+1.2%（▲0.3%）

欧州中銀

・19年中の利上げ断念
・金融緩和維持&マイナス金利副作用軽減を検討

中国

米中貿易摩擦

VS

トランプ政権

米国

・対中貿易交渉は妥結は5月延期へ

地政学&米中貿易摩擦

1-3月成長率3.2%加速（前期+2.2%）

※民間住宅投資▲2.8%、民間設備投資+2.7%、

個人消費+1.2%、輸出+3.7%、輸入▲3.7%

・3月雇用増加+19.6万人（2月+2万人）

・3月失業率3.8%（2月3.8%）

FRB/2019年利上げ見送り、新緩和策を検討へ

経済減速鮮明

●1-3月期 実質成長率
前年同月比横ばい6.4%
→やや改善
（製造業景況感、生産指標の改善）
→企業や個人が再び借金依存強化

●年後半の
景気浮揚を狙う

日本

中国景気減速

・4月月例経済報告
景気は穏やかに回復としながらも、中国経済の影響で製造業に慎重さが見られるとコメント。

●日銀 2%物価目標達成時期まで金融緩和継続

※2019年度物価見通し+0.9%

①フォワードガイダンスの導入

②短期金利（-0.1%）、長期金利を0%へ誘導

③長期金利変動幅は従来の±0.1%から±0.2%を念頭に

③長期国債、ETF、J-REITの買い入れは柔軟に

新興国

- 新興国の資金流出歯止め、通貨安一服
- 東南アジア新車販売台数減少（前年同月比▲2%）
- トルコ/通貨リラ下落傾向
- オーストラリア/12年ぶり財政黒字（住宅価格下落懸念）

緩和マネー